



幌延町広報誌

ほろのべの恋

2019年 9 月号
(令和元年) NO.659

● ほろのべ議会だより 第111号
…P2～5

風つこ 宗谷の夏
駆ける

幌延町ウェブサイト
<http://www.horonobe.hokkaido.jp/>





ほろのべ

北緯45度のまち

議会だより

第111号

発行 北海道幌延町議会

編集 議会報編集委員会

電話 01632-5-1111

FAX 01632-5-2971

第4回 幌延町議会 定例会

6月20日

始めに幌延町民憲章を出席者全員で朗誦した後開会。行政報告、一般質問2名、報告3件、議案9件、意見案2件、追加議案1件を審議し、全会一致で可決、閉会した。

主な内容は次のとおり。

▽報告第1号

平成30年度幌延町一般会計繰越免許費繰越計算書の報告について

平成30年度幌延町一般会計補正予算において設定した、平成30年度内に事業完了が見込まれない問寒別地区道営畑地帯総合整備事業及び上幌延開進地区道営畑地帯総合整備事業に係る補正予算を平成31年度に繰越して使用する。



▽報告第2号

有限会社幌延町畜産振興公社の経営状況について

平成30年度は6百38頭の入牧頭数で、前年度より50頭の減少となった。

預託中の事故はなく、町営草地開設以来の初めての無事故となった。

① 1百28ヘクタールある上幌延団地を今後どのように牧場維持していくのか。

② 牧場としての機能を保つために少しでも放牧して守っていく。

③ 令和元年度の放牧頭数は何頭なのか。

④ 南沢3百69頭、問寒別3百18頭、合計6百87頭。

⑤ 昨年度の受胎率は。

⑥ 85.4%。

⑦ 去年と比べて若干落ちてきているのでは。

⑧ 例年並みだが、雌雄判別の精液の要望が多く、その場合通常のものと比較すると落ちている。

⑨ 送電線の工事の関係で、土地が使用されていたが、使用料収入はあるのか。

⑩ 行政財産の目的外利用で、役場で収入を受けている。

▽報告第3号

株式会社幌延町トナカイ観光牧場の経営状況について

平成30年度の入場者数は、観光繁忙期の天候不順等を受け、4万3千4百21人。

前年度と比較し4千3百20人の減少となった。

① 餌の売上が0の理由は。水道や電気、ガス代の徴収はしているのか。

② トナカイの餌は、テナントで入っている安心生産農園が販売している。

水道代、電気代については徴収しておらず、ガス代のみ負担してもらっている。

▽議案第8号

一般会計補正予算

庁舎等の警備体制の変更、集落機能維持のサポートに取り組み集落支援員活動費、道庁派遣職員の人件費、建設機械修繕費など緊急課題に対応する予算2千9百86万8千円を追加し、予算総額50億4千4百86万8千円とする。

① 地域コミュニティ形成事業の委託料内容を説明願いたい。また、集落支援員の業務内容を伺いたい。

② お試し地域おこし協力隊や集落支援員の講習、先進地視察経費。集落支援員の業務はそれぞれの地域や集落の行事に参画し、情報や課題を収集し活動する。それぞれの地域に精通出来るよう、3名の適任者を選任したい。

③ 集落支援員の任期は。④ 1、2年目は地域の状況調査と課題検討し、3年目で該当地域住民を交えた未来像を共有、4、5年目で実証的な取組をしていく。



行政報告―町長

幌延町産ミズナラ樽で熟成したワインが3月に完成。5月10日に町民を対象とした特別講演会と試飲会を開催した。6月からふるさと納税の返礼品に加える。また、ミズナラで作った樽を活用した取り組みが北海道経済の活性化に寄与したと認められ、北海道経済産業局長から感謝状が贈呈される。

令和3年3月31日までの期間、北海道職員の山田輝也氏を産業振興課農林グループ主幹として任命した。

JR北海道の単独維持困難線区、北海道8線区の関係団体の総意により、利用促進に資する投資的経費に対して、全体で総額年2億の支援を行う。本町の支援額については、次回以降の議会において審議いただきたい。

今後とも、JR北海道と地域が一体となり、「宗谷線アクションプラン」を遂行し、地域を支える持続的な交通体系を推進していく。

教育行政報告―教育長

令和元年度町内の児童生徒数は、小学校2校で百19名、中学校は2校で58名。

指導体制については、英語等の学習指導のため、幌延小学校の学習支援員を問寒別小学校にも派遣した。

教育課程の具体的な取組は、問寒別中学校と幌延中学校でテレビ会議システムを使用し、遠隔授業を実施。

宗谷地区中学校陸上大会が開催され、幌延中学校の村上湖太君、金田陵希君、小原守利君、加藤睦丈君、更に4百メートルリレーでそれぞれ全道大会への出場権を獲得した。

問寒別中学校の遠藤芽衣さんが、2年連続で全国児童・生徒木工工作コンクールで入選し、日本木青連会長賞を受賞。

剣道スポーツ少年団で加賀山友暢君、団体戦で幌延小学校児童4名が北海道少年剣道錬成大会及び赤胴少年剣道錬成大会への出場権を獲得した。

地域の課題をとらえて

2氏が一般質問



無量谷 隆

・人材バンクと町職員住宅のあり方について

人材バンク制度について

質問 人口減少に伴い、人材不足が問題となってきた。人材不足を解消するための取組について、人材バンク制度のような仕組みの必要性を感じている。

短時間労働が可能な方に小さなお手伝い感覚で軽作業などの働く場所を提供できる人材バンクを活用した派遣制度ができないか。

町長 働く意欲のある町民が経験や知識を生かして、自身のライフスタイルに合わせた臨時的かつ短期的な軽作業などを提供するシルバー人材センターのような仕組みの必要性は感じている。その実現の可能性を含め、協議を進めている。

町職員住宅のあり方について

質問 町の職員住宅は、満室状態だと聞いている。職

員住宅は給料の少ない若手職員を優先すべきである。管理職などの職員は持ち家や他の住宅を借りるなどし、職員住宅を若い職員に譲るべきではないか。

町長 近年採用した職員の7割から8割が幌延町外出身者となっている。

職員が幌延町内に持ち家を取得したうえで業務を行うことを住民が望んでいると思うが、個人の一生に影響することであるため、それぞれの判断になる。





岡本 則夫

・地域の振興対策について

道の駅構想について

質問 本年度、執行方針の中に「道の駅」という字句があったが、現在の程度進んでいるのか。場所は決定したのか。

町長 平成31年度町政執行方針において「交流・交通の要所となる拠点の整備について検討協議を進める。」と上げており、平成27年度に策定した、幌延町まち・ひと・しごと創生総合戦略において、「町への新たな導線を確立するための施設整備構想の具体化」を目標に掲げ、平成28年度に「幌延町地域振興・観光計画」を策定し、検討協議を進めているほか、観光資源調査、町内観光関連事業者へのヒアリング調査、観光モニターツアー、町の食材を使った食イベント等の事業を実施している。

観光コンテンツや特産品

・おみやげ品の開発などについて検討を進めている。

質問 町の中では、既に道の駅がもうできるような話まで出ており、バイパスの道路にそった場所にするならば、既に遅いのではないのか。

町長 道の駅と限定をしていない。2年間、産官学金言労議で協議を進めている段階であり、特産品づくりまたは観光コンテンツをどう進めるかということも議論している。

質問 何十年先の計画を立てて、プロジェクトを組んでいるのか。

町長 期日は決定していないが、町民の皆さんに承認をいただける意見が協議の中でまとまって行くと思う。

トナカイ観光牧場の今後について

質問 トナカイ牧場をどの

ような形で今後続けていく考えなのか。

町長 引き続きトナカイを町の顔として周知していくためにも、仕組みや体制づくりについて、検討を進め、町の振興に繋げたい。

この観光牧場の中で、畜産としての業をなすということではないが、町内に少しでも循環をして、製造したい人の手に渡るように肥育ができないのか、それぞれ担当とも相談している。

質問 民間でやられてる方の手を借りなければ、トナカイ観光牧場を維持できないのか。

町長 今は民間にお世話になつてるといのが実態。トナカイの飼育したいということ、獣医学科を出た方が研修に来ている。そういう方たちに就農してもらえよう、そういう道筋を少しでもつくりたい。



第4回

まちづくり常任委員会

6月6日

▽地域コミュニティ形成事業等実施について

幌延町の地域や集落で暮らし続ける事の出来る仕組みづくりを目指す事業であり、国の関連制度を活用し地域運営組織等が運営する「集落支援センター」によって、その機能の維持運営を目指す。

問 議会と行政が検討課題としてきた、生活交通弱者対策が主要な事業だと思いが。 **答** コミュニティ形成事業の課題のひとつだが、まずは地域や集落ごとの悩みや要望を収集調査し最終的に交通弱者対策に結びつける事が理想的ではないか。 **問** 集落支援員の業務内容は。 **答** 地域・集落ニーズ等の把握やイベント等事業支援、おためし協力隊支援などが、あくまでも主体は地域の人達であり、お互いの役割分担を発掘して行くのが今年度の地域コミュニティ

形成事業である。

▽電源立地地域対策交付金について

幌延深地層研究センターの立地に伴い交付されている交付金で、幌延町及び周辺地域が対象。

町では平成16年、18年と平成26年、30年の8年間で1億5百31万4千円が電灯給付金として各戸に契約口数に応じて配分されている。令和元年度以降、令和5年度まで現状を勘案し継続実施する事となった。

問 動力分も契約量に応じて各戸配分出来ないのか。 **答** 平成30年度実績で約3千9百96万4千円が交付されているが、特定電力などで全町民的な均衡が取れないこともあり、現在は福祉や医療サービスの充実に当てている。

▽公金の手数料等の見直しについて

最近の長引く低金利金融経済や社会情勢などから、平成14年度頃から全国的に見直しが進められてきた。

管内町村会での統一した見解はないが、令和2年4月から、各種手数料等の見直しを進めて行く。

第5回

まちづくり常任委員会

6月20日

▽JR北海道単独維持困難線区に対する地域支援について

今後、宗谷線を運行するための経費について名寄以北の市町村の自治体に負担額が示された。幌延町の負担額は2年間で86万1千円。◎名寄以北の市町村の負担割は。

◎決定には至っておらず、各自治体の諸事情にもよるが、均等割、人口割、財政割などがある

◎2年間限定なのは理解したが、3年目以降はあるのか。

◎2年間限定ということで行っている。この2年の中で、アクションプランを作成し、これに基づく活性化を図っていく。

◎今回他の自治体も経費を負担するということになるが、これからも経費負担をし続けるのか。

◎この2年間限定で応援していただくという事で、早く法律を改正してもらい、国の支援をいただきたいということ。

▽沿岸バス豊富幌延線単独運行路線化について

実施日は令和元年8月1日。

変更点は、沿岸バスから豊富留萌線と幌延留萌線を統合し、「豊富幌延線」を廃止したいとの提案があったことから、豊富町とも協議し、両町負担で単独運行路線化を検討している。



全道議員研修会開催

令和元年6月25日

令和元年度の全道町村議員研修会が札幌コンベンションセンターにて開催された。

この度の研修会は、まず「どうなる？今後の日本政治」と題して、政治評論家の有馬晴海氏が安倍総理一強時代の今後の政治情勢を解説された。

次に「地方は変わるのか、自治体はどう変わるか」と題して、中央大学名誉教授の佐々木信夫氏が、人口問題と地方自治体経営の方向性、地方議会のあり方などを統計や実例を示しながら講演した。

議員現地視察調査

令和元年6月26日

現在、町が試験栽培を進めているワイン用ブドウ栽培に関する調査を三笠市達布地区のTAKIZAWAワイナリーにて行った。

滝沢氏は50歳をすぎてか



らワイナリーの経営に挑戦し、現在、3ヘクタールの南斜面に3種類のワイン用ブドウ苗を約9千本栽培している。

ワイナリーではワイン熟成の様子を視察した。アメリカ産ワイン樽や酸味を生かすステンレス製樽を使用していた。

ブドウ畑では、栽培の基本的な知識や主な栽培アドバースを滝沢代表から伺った。

編集後記

早くも秋の便りが届く時節となりました。

街中の家庭菜園も収穫に忙しい事と想います。さて、町も今年は幌延町の今後10年間の基本構想や5年間の前期基本計画を作成するため、町の各関係機関より選任された26名の委員で構成する審議会が作られました。いわゆる「第6次幌延町総合計画」です。

これらに関する町民アンケート調査が行われましたが、皆様は回答されましたでしょうか。少しでも未来に夢の持てるまちづくりをしていきたいものです。

議会としても、皆様の意見や先進地を調査視察しながら、行政としっかりと議論を重ね、その後の実施計画に結びつけるため、議員全員で努力して参ります。

編集委員長 植村 敦
副編集委員長 岡本 則夫
編集委員 齋賀 弘孝
無量谷 隆

令和元年度

エネルギー関連施設見学会

児童・生徒の部 7月31日(水)～8月2日(金) (広報・調査等交付金事業)

幌延町内の小中学生25名が7月31日～8月2日の3日間、町内外にあるエネルギー関連施設の見学会に参加しました。



1日目は、町内の「幌延深地層研究センターゆめ地創館」を訪れました。ここでは、同センターで行われている深地層研究について学んだ後、バーチャル地下施設の見学を通して地下の坑道内の様子を知りました。

茨城県に移動した2日目は、東海村の「核燃料サイクル工学研究所」とつくば市の「地質標本館」を訪問しました。核燃料サイクル工学研究所では、研究で実際に使う電子顕微鏡で微生物を観察。最新の研究について説明を受けました。

地質標本館では地層に関する講義を受けました。その後、川の模型を使った実験で地層の成り立ちを学びました。子どもたちは疑問に感じたことをその場で担当者に質問していました。



ます。計上して
をそれぞれ
957万円
改修事業に
道路横断管
幌延22号線
千円、町道
321万1
事業に1千
ンター補修
費として、
上しました。
円増で、歳入
計
上
費
ン
事
3
千
幌
道
改
9
を
計



計補正予算(第2号)
補正の内容は、歳入歳出
それぞれ2千278万1千
円増で、歳入は繰越金を計
上しました。歳出は工事請
負費として、問寒別除雪セ
ンター補修
事業に1千
321万1
千円、町道
幌延22号線
道路横断管
改修事業に
957万円
をそれぞれ
計上して
ます。

▽議案第1号
平成31年度幌延町一般会
計補正予算(第2号)
補正の内容は、歳入歳出
それぞれ2千278万1千
円増で、歳入は繰越金を計
上しました。歳出は工事請
負費として、問寒別除雪セ
ンター補修
事業に1千
321万1
千円、町道
幌延22号線
道路横断管
改修事業に
957万円
をそれぞれ
計上して
ます。

第5回
幌延町議会
(臨時会)

保健センターから検診のお知らせ

■今年も「子宮がん・乳がん検診」を同日に行います。

◎日 程：11月12日（火） 午前・午後

▼子宮がん検診

対 象 者：20歳以上の女性（令和元年度中に20歳になる方を含む）

検診内容：子宮頸がん検診と超音波検査

▼乳がん検診

対 象 者：30歳以上の女性（令和元年度中に30歳になる方を含む）

検診内容：マンモグラフィ検査（医師の診察はありません）

◎料 金：各検診1,000円（クーポン券対象者は無料）

- ・当日の検診で子宮体部がん検診が必要となった場合、別途500円かかります。
- ・検診は子宮がんと乳がんの「両方」「どちらか一つ」を受けることができます。
- ・生活保護受給者は無料です。申し込みをする時にお伝えください。
- ・クーポン券対象者には5月にクーポン券を送付しています。
- ・問寒別地区の方は患者輸送車両を利用して受診することができます。
- ・毎年の受診が可能で、昨年受診された方も1,000円で受けられます。

■「大腸がん単独検診」を行います。

◎検体回収日：11月18日（月）、19日（火） 午前中

対 象 者：令和元年度に大腸がん検診を受けていない30歳以上の町民

検診内容：便潜血検査

◎料 金：500円

- ・自宅で便を採取し、回収日に提出するだけの簡単な検査です。
- ・クーポン券対象者には、9月下旬ごろクーポン券を送付する予定です。

<各検診の申し込み>

受付期間：9月19日（木）～10月3日（木）

受 付：保健センター 電話（5-1790）か
来所してお申し込みください。



申し込みをする時は、①希望する検診 ②氏名 ③生年月日 ④住所
⑤電話番号 ⑥希望の時間帯(午前、午後のどちらか)についてお知らせください。
※不明点があれば、下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先：保健福祉課 保健センター 電話・告知端末機：5-1790



まちの話題



7月29日 日曜日



問寒別神社例大祭

7月30日 火曜日



問寒別神社例大祭が7月29、30の両日、問寒別地区で行われました。29日の宵宮では、大勢の観客がD型ハウスを舞台にカラオケ大会を楽しみました。本祭の30日は神輿を担ぐ元気良い若者の声が目元に響きました。問寒別地区の園児や児童生徒によるよさこい踊りと同地区住民を中心としたサロベツ太鼓保存会の演奏が祭りを盛り上げました。



7月27日 日曜日

7月28日 月曜日



おもしろ科学館 2019inほろのべ



理科実験や工作を通して科学に親しむ「おもしろ科学館 2019inほろのべ」が7月27、28の両日、町内で開かれました。会場の総合体育館とゆめ地創館には化石発掘体験のほか、石の標本・工作づくりなど約30のブースが並びました。来場者は2日間で延べ8000人にのぼり、子どもたちは思い思いに興味あるブースを巡って、夏の思い出を作りました。ヒーローショーも好評でした。





子ども会七夕まつり 交通安全パレード

8月7日

子ども会七夕まつり交通安全パレードが8月7日、町内で行われ、約270人が参加しました。子どもたちは願いごとを書いた短冊を笹竹に結び、山車を引きました。終着地の共進会場では、夏の夜空を彩る打ち上げ花火が上げられました。



風っこそうや号

7月27日～8月12日



JR宗谷線の観光列車「風っこそうや号」は7月～8月の7日間、幌延駅と雄信内駅に停車しました。乗客は毎回約100人と大入りで、幌延駅で振る舞われた幌延のワインやジンギスカンを堪能。乗客らは「解放感があって景色も良く、時間を忘れるほど楽しかった」と喜んでいました。



第49回幌延町乳牛共進会

8月8日

乳牛の体形の美しさを競う第49回幌延町乳牛共進会が8月8日、共進会場で開かれました。町内の酪農家が丹精し育てた出産経験のない未経産牛26頭、出産経験のある経産牛22頭が専門家に審査され、最高位など順位が決められました。



問寒別地区 盆踊り大会

8月18日



問寒別地区盆踊り大会が8月18日、同地区で開かれ、町内外から約200人が来場しました。会場では花火が打ち上げられ、仮装盆踊りやタラバガニ争奪じゃんけん大会などのイベントで盛り上がりました。



タラバガニ争奪ジャンケンで優勝!



8月10日 8月11日

📷 第49回ほろのべ名林公園まつり

✍️ 幌延町最大の祭り「第49回ほろのべ名林公園まつり」が8月10、11の両日、山村広場で開かれました。町内外から訪れた来場者は、幌延町観光大使・井上仁志さんの音楽ライブやお笑い芸人のコントなどを楽しみました。秘境駅をバスで巡る「秘境駅フェスタ」も同じ日程で開かれ、参加者は幌延駅に停車した観光列車「風っこそうや号」を出迎え、見送りました。最後は町内を練り歩く伝統踊り「幌延ど真ん中踊り」と仮装盆踊りが行われ、大盛況のまま祭りは幕を閉じました。

イベント、特産品販売



オープニングセレモニー



100食分無料提供された幌延のワインとジンギスカン



幌延産合鴨と幌加内産そばを味わう来場者



ミスナラ材の端材を使った箸置き作り



豪華景品の当たりくじが当たったティッシュ投げ

音楽、お笑いライブショー



お笑いライブで盛り上がる会場



共演する上杉周大さん（左）と井上仁志さん



お笑いトリオ「ハナコ」



ものまね芸人「ミラクルひかる」

秘境駅フェスタ



幌延駅で「風っこそうや号」をお出迎え



秘境駅めぐりバスツアー「出発進行!!」



「何も無い」がある秘境駅・糠南駅を探索

幌延ど真ん中踊りと仮装盆踊り



息を合わせて躍る踊り手たち



約100人が整然と並んだ幌延ど真ん中踊り



仮装盆踊り大人の部 (団体) 優勝チーム



仮装盆踊り子どもの部

排水設備工事責任技術者資格登録更新のお知らせ

北海道排水設備工事責任技術者資格の有効期限は5年間であり、資格登録者は5年ごとに更新の手続きをする必要があります。更新対象者には、資格登録更新実施案内と申込書を後日郵送しますので、定められた期間内に手続きを行ってください。

なお、住所が変更になっている対象者は更新案内が届かない場合がありますので、速やかに変更手続きを行ってください。

更新対象者：①平成26年度に北海道排水設備工事責任技術者試験に合格した方

②資格登録更新手続きを行った方で、資格登録期間が令和2年3月31日で満了する方

受付期間：令和2年1月9日（木）～16日（木）

午前8時30分～午後5時15分

※土・日曜日、祝日を除く

更新方法：手続き終了後、更新用テキストを配付します。

手数料：7,000円【更新手数料（テキスト代込み）と資格認定交付等手数料として】

お問い合わせ先：建設管理課 管理グループ上下水道係 電話：5-1116

告知端末機：5-8816 F A X：5-2971



地域おこし協力隊通信

vol.45

こんにちは、地域おこし協力隊の吉原ゆりかです。

今年は春から暖かい日が続き、「お花の当たり年」と言われるくらい多くの花がある美しい景色を幌延で見ることができました。同じ景色は二度と見ることはできませんが、来年以降もまた素敵な景色に出会えること楽しみにしています。

話は変わりますが、現在町で取り組んでいる「ミズナラ材のワイン樽」の製造過程で、多くの端材が出ます。これを活用しない手はないと考え、町内の木工のプロフェッショナルである橋本俊男さん、遠藤雅樹さんに木工作品の製作を依頼しました。完成品をワインのお披露め会で展示したところ、大好評！2人から「自分で作った方がおもしろいよ」と助言をもらい、観光列車「風っこそうや号」の物販とおもしろ科学館の体験ブースのために作品づくりに挑戦しました。職員の協力を得て、研磨機などを使いマグネットと箸置きを作りました。仕上がりは「手作り感満載」でしたが、新たな特産品として手ごたえを感じています。今後も加工技術を磨き、町内外の方に紹介していきたいです。



手作りの箸置きやマグネット



お披露め会で展示した木工作品

●町ホームページ協力隊コーナー「BaseTown」
<http://www.town.horonobe.hokkaido.jp/www4/section/kikakuseisaku/le009f000000a9tp.html>

●協力隊Facebook QRコード



最低賃金の引き上げに向けた 中小企業・小規模事業者支援事業等 のお知らせ

国は平成29年3月に決定した「働き方改革実行計画」に基づき、全国加重平均が1,000円になることを目指しています。

最低賃金の引き上げ実現に向け、中小企業、小規模事業者を対象にした3つの支援策を紹介します。詳しい制度についてはお問い合わせください。

●業務改善助成金

事業場内の中で最も低い賃金を30円以上引き上げ、設備投資（機械設備やPOSシステムなどの導入）などを行った場合、その費用の一部を助成します。

お問い合わせ先：北海道働き方改革推進支援センター
電話：080-0919-1073

●キャリアアップ助成金

有期契約、短時間、派遣の労働者など非正規雇用労働者のキャリアアップを図るため、正社員化や処遇改善の取組を行った事業者を助成します。

お問い合わせ先：北海道労働局 電話：011-709-2311

●人材確保等支援助成金

企業内の雇用管理改善をすすめ、離職率の低下や職場定着を支援することを目的とした助成金です。

お問い合わせ先：北海道労働局職業安定部職業対策課雇用開発係
電話：011-788-9132

全国健康保険協会北海道支部からお知らせ

○ジェネリック医薬品にかえてみませんか？

ジェネリック医薬品の普及は、加入者の皆さまの薬代の負担軽減や健康保険財政の改善につながり、今後の医療費や保険料率の伸びを抑えることができます。かかりつけの医師、薬剤師にジェネリック医薬品の処方についてご相談ください。

○禁煙・分煙の取組について

北海道の喫煙率は全国的にみて高い傾向にあります。全国健康保険協会北海道支部では、喫煙対策を通じて加入者の皆さまの健康を守るさまざまな取組を行っています。詳しくは下記ホームページをご覧ください。

ホームページ https://www.kyoukaikenpo.or.jp/shibu/hokkaido/cat070/smoking_kitsuentaisaku

お問い合わせ先：全国健康保険協会北海道支部
電話：011-726-0352

情報

インフォメーション

運転免許更新時 講習のお知らせ

●会 場 天塩町社会福祉会館
と き 9月3日(火)

・初回更新者講習
午前10時～正午

・優良運転者講習
午後1時～1時30分

・一般運転者講習
午後1時45分～午後2時45分

・違反運転者講習
午後3時～5時



●会 場 幌延町消防署2階
と き 9月4日(水)

・優良運転者講習
午後6時30分～7時

七月定例俳句会作品

先生の澄みし草笛せがみけり
追憶の麦わら帽子と草笛と
草笛を競いし友も遠くなり
古里に残した友と草の笛
少年のくちびる青し草の笛
草笛の音色にひかれ習いけり
唇に唄残りいる草の笛

幌延ほおずき俳句会

横山 貞雄
小玉 利治
富樫 堅一
富樫 とも子
熊谷 千恵子
佐藤 光朗
田中 徹男

林業退職金共済制度の 退職金請求のお知らせ

林業退職金共済制度は、昭和57年に発足した林業界で働く方のための退職金制度です。これまで林業の仕事に就いており、その当時に林業退職金共済制度に加入していた方で、退職金請求手続きをしていない方は退職金をまだ受け取っていない可能性があります。下記のお問い合わせ先にご連絡ください。



お問い合わせ先:

独立行政法人勤労者退職金共済機構
林業退職金共済事業本部
電話:03-6731-2889

建退共制度を知っていますか?

建退共制度は中小企業退職金共済法に基づき、建設現場の労働者の福祉の増進と建設業を営む中小企業の振興を目的とした退職金制度です。この制度は、事業主が労働者の働いた日数に応じて掛金となる共済証紙を共済手帳に貼り、その労働者が建設業界で働くことをやめた時に建退共から退職金を支払う仕組みです。

- 加入できる事業主：建設業を営む方
- 対象となる労働者：建設業の現場で働く方
- 掛金：日額310円

制度の特徴

- 国の制度のため安全で確実で、申し込み手続きは簡単です。
- 経営事項審査で加点評価の対象になります。
- 掛金の一部は国が助成します。
- 掛金は事業主負担ですが、法人は損金、個人は必要経費として扱われ、税法上全額非課税になります。
- 事業主が変わっても退職金は企業間を通して計算されます。

お問い合わせ先:建退共北海道支部 電話:011-261-6186

アイヌ民族の方からのさまざまな ご相談をお受けします

公益財団法人「人権教育啓発推進センター」は、アイヌ民族の方々の悩みをお受けするフリーダイヤルを開設しております。嫌がらせ、差別、プライバシー侵害などのご相談もお受けしますのでお気軽にご連絡ください。

- 相談は無料です。
- 匿名でもかまいません。
- 秘密は厳守します。



受付：月曜～金曜日

※祝日、12月29日～1月3日をのぞく

時間：午前9時～午後5時

相談専用電話

アイヌ民族の方々のための相談専用フリーダイヤル
0120-771-208

※来訪によるご相談もお受けします。

月曜～金曜日 午後1時～5時(要予約)

公益財団法人 人権教育啓発推進センター

〒105-0012

東京都港区芝大門2-10-12 KDX芝大門ビル4階

- この相談事業は、(公財)人権教育啓発推進センターが厚生労働省生活相談充実事業により実施するものです。

公正証書のお知らせ

法務省と日本公証人連合会は、公証制度の普及を目的に10月1日～7日の1週間を「公正証書週」と定めています。

法律の専門家である「公証人」は法務大臣に任命された公務員です。公証人は公証役場で遺言や重要な契約など「公正証書」の作成、会社を設立する時の定款の認証などを行っています。

○遺言を残す場合は、「公正証書」で!

公正証書遺言は自筆証書遺言のように裁判所での検認の必要はなく、原本は公証役場で保存しているので偽造や変造、紛失の心配もありません。また、公証人が依頼者の自宅や病院へ出向き、遺言書を作ることもできます。公正証書を詳しく知りたい方は、お近くの公証役場、法務局にお問い合わせください。

●旭川公証人合同役場

旭川市6条通8丁目37番地22 68ビル5階
電話：0166-23-0098

●名寄公証役場

名寄市西1条南9丁目35番地
電話：01654-3-3131

●旭川地方法務局

旭川市宮前1条3丁目3番15号
電話0166-38-1144

気象台一口メモ

①「平成30年北海道胆振東部地震」から1年

人命や産業に甚大な被害をもたらした「平成30年北海道胆振東部地震」の発生から、9月6日で1年を迎えます。

宗谷地方に大きな揺れはありませんでしたが、地下には「サロベツ断層帯」という活断層があります。この断層帯でマグニチュード7.6程度の地震が発生した場合、当地方ではこれまで経験したことがない最大震度6強以上の揺れが想定されます。地震発生に対して、次のような備えをしておきましょう。

- ・地震が発生したときは、『第一に自分の身の安全を守る』
- ・大きな揺れに対しては、家具の固定を行い、避難経路や避難場所を確認しておく。
- ・停電時に備え、懐中電灯や乾電池、ラジオなどを用意しておく。
- ・食料、飲料水、カセットコンロ、ボンベなどを用意しておく。
- ・冬季の地震に備え、避難路の路面状況、落雪やなだれなど雪に関する影響、注意箇所を確認しておく。普段から暖房器具のそばに燃えやすいものを置かない。防寒着、毛布、使い捨てカイロ、断熱マットなどを用意しておく。



②台風の情報が変わりました～台風強度予報を「5日先まで」延長



台風とは熱帯低気圧のうち、北西太平洋または南シナ海に存在し、低気圧域内の最大風速（10分平均）がおおよそ17m/秒以上のものをさします。

台風により引き起こされる災害は、暴風害、洪水害、浸水害、高潮害、波浪害などで、これらの災害は組み合わせることもあります。

過去には大きな被害を与えた台風も数多くあり、近年では平成28年8月に4つの台風が北海道に接近・上陸し、交通・産業に大きな影響を与えました。

気象庁は「台風情報」で台風の実況と予報をお伝えしていますが、平成31年3月14日以降に発生した台風からは、これまで「3日先まで」発表していた強度予報（中心気圧、最大風速、最大瞬間風速、暴風警戒域など）を「5日先まで」に延長して発表しています。

新たに4日先以降の暴風警戒域などに関する情報を提供することで、これまでより早い段階での防災行動等の台風に対する備えが可能になります。



お問い合わせ先：稚内地方気象台 電話：0162-23-2679

令和元年10月1日から年金生活者支援給付金制度が始まります

年金生活者支援給付金は、公的年金などの収入や所得額が一定基準額以下の年金受給者の生活を支援するために、年金に上乗せして支給されるものです。受け取りには**請求書の提出**が必要です。ご案内や事務手続きは日本年金機構（年金事務所）が行います。

■対象となる方

●老齢基礎年金受給者

以下の要件をすべて満たしている方

- ・65歳以上
- ・世帯員全員の市町村民税が非課税
- ・年金収入額とその他所得額の合計が約88万円以下

●障害基礎年金、遺族基礎年金の受給者

前年の所得額が約462万円以下の方



■請求手続き

●平成31年4月1日以前から年金を受給している方

対象となる方には、日本年金機構から請求手続きのご案内が9月上旬から順次届きます。同封のはがき（年金生活者支援給付金請求書）を記入し、日本年金機構に提出してください。提出はお早めをお願いします。

●平成31年4月2日以降に年金を受給しはじめた方

年金の請求手続きと併せて年金事務所または幌延町役場住民生活課の窓口で請求手続きをしてください。

■日本年金機構や厚生労働省を装った不審な電話や案内にご注意ください。

日本年金機構や厚生労働省から口座番号をお聞きしたり、手数料などの金銭を求めることはありません。

※年金生活者支援給付金のご請求でお困りになったときには、下記にお電話ください。

『給付金専用ダイヤル』：0570-05-4092（ナビダイヤル）

お問い合わせ先：稚内年金事務所

電話：0162-32-1941

住民生活課 住民グループ

電話：5-1112、告知端末機：5-8812

町民くらしのカレンダー 9月 (Sep)

注：保セ=保健センター
問セ=問寒別生涯学習センター
老セ=老人福祉センター
町プ=町民プール

子セ=子育て支援センター
問保=問寒別へき地保育所
国際=国際交流施設

| | | | |
|------------|--|------------|---|
| 1日 | ふるさと自然体験チャレンジ教室「酪農体験」 8:20~12:00(問寒別地区) 北星園祭 10:30~14:30(同園前特設会場) | 16日 | 敬老の日 |
| 2月 | 出張ひろば 10:00~11:00(問保) 英会話教室 19:00~20:30(問セ) | 17日 | |
| 3日 | つぼみひろば 10:30~11:30(子セ) | 18日 | 問寒別にこにこ教室 10:00~(問セ) キッズダンス教室/子ども運動教室 14:45~(幌小) |
| 4日 | めばえわかばひろば 10:30~11:30(子セ) 認知症講演会 18:30~(国際) | 19日 | 2歳児健康相談 10:00~(保セ) ピロリ菌・骨粗しょう症検診(予約制、診療所) |
| 5日 | ピロリ菌・骨粗しょう症検診(予約制、診療所) 福寿会ふまねっと 14:00~(老セ) | 20日 | |
| 6日 | 水泳大会午前の部 10:20~/午後の部 13:30~(町プ) 5歳児健康相談 13:15~(保セ) | 21日 | 町民マラソン大会 開会式 9:20~(スポーツ公園) |
| 7日 | | 22日 | |
| 8日 | 問寒別地区町内会対抗ソフトボール大会 10:00~(問寒別小中学校) | 23日 | 秋分の日 |
| 9日 | 【心療内科・精神科診療日】 | 24日 | 【心療内科・精神科診療日】 |
| 10日 | 健診結果説明会 9:30~(保セ) 親子リズム体操あそび 10:30~11:30(こども園) 子どもの集い「ひのき屋のわいわい音楽隊」 開場13:15、開演13:45(幌小) | 25日 | もぐもぐ教室 10:00~(保セ) |
| 11日 | 軽体操教室 10:00~(総合体育館) つぼみひろば 10:30~11:30(子セ) すくすく健診 13:00~(保セ) 第4回生きがい教室「町外研修」13:00~(豊富町) | 26日 | はつらつ教室 9:45~(保セ) ピロリ菌・骨粗しょう症検診(予約制、診療所) |
| 12日 | めばえわかばひろば 10:30~11:30(子セ) はつらつ教室 9:45~(保セ) ピロリ菌・骨粗しょう症検診(予約制、診療所) | 27日 | こども園すきっぷくらぶ 10:00~11:00(子セ) にこにこ教室 9:30~(保セ) |
| 13日 | 【問寒別出張診療日】 明和会健康相談 10:30~(下沼寿の家) 絵本の読み聞かせ 11:00~11:30(生セ) | 28日 | 幌延町文化祭 13:00~19:00(国際) |
| 14日 | | 29日 | 幌延町文化祭 9:00~16:00(国際) |
| 15日 | ノーカーウィーク(15~21日) | 30日 | |



★お悔み申し上げます
富士元キヌエさん(85歳) 1条北2

☆お誕生おめでとう
安齋 佳葉さん(父 慎) 問寒別

☆ご結婚おめでとうございます
玉木 啓太さん 東町
早川 知歩さん 室蘭市

戸籍の窓

◇幌延町社会福祉協議会へ
(香典返しの一部)
田中 瑞さん(夫) 下沼
富士元寿彦さん(姉) 幌延

ご寄付ありがとうございます
7月

